



りくぜんたかた

市議会 だより

第2回定例会

CONTENTS

議会報告会(議会と語る会).....	2
第2回定例会.....	6
一般質問.....	8
常任委員会活動ほろこく.....	14
議会ニュース.....	17
市民と交流コーナー.....	19



お兄ちゃん
は遊びの先生!

陸前高田に夏が来た

お天王さま(高田町 令和6年7月20日)

No. 129

発行日 令和6年8月7日

議会と語る会を15回開きました!!

行って 言えて

もっとやってほしい

声

よかった! 計228人の

2年ぶりに開かれた陸前高田市議会「議会と語る会」。市民の皆さまや地域からのさまざまなご意見は、議会として調査テーマなどに取り上げ、市政に反映してまいります。

- ◆市内11地区で『語る会』 →2~3ページ
- ◆建設業協会さんと『語る会』 →4ページ
- ◆テーマ別で『語る会』 →4ページ

議会と語る会 市内11地区

5/13(月) 19:00~
3地区

5/14(火) 19:00~
3地区

5/16(木) 19:00~
3地区

5/17(金) 19:00~
2地区

- 議会の視点で令和6年度予算を説明
- 各常任委員会の活動を報告

総務	教育民生	産業建設
「持続可能な行財政運営とまちづくり」	「保小接続期の教育」 「こどもの居場所」	「貝毒の現状」 「産業振興」



障がい者と交流を

障がい者との交流を増やす機会を増やせないか? (横田)

新笹ノ田・ILC

新笹ノ田トンネルとILC誘致はあきらめないで働きかけてほしい。(今泉・竹駒・矢作)

もっと多くの人が集まるように語る会のPRを工夫してください。(今泉)



PR不足

温暖化で、一次産業に被害が多く収入が不安定になっている。(小友・広田・米崎)

温暖化



草刈り深刻

かさ上げ地や私有地の草刈りが問題。特に斜面は高齢化の進む地域では対応が難しい。(高田・今泉)

少子化が進み、複式学級が増え、部活の継続もできない状態。(小友・広田)

少子化



道路の改良。見通しの悪いカーブにセンターラインや幅員拡大などの安全対策を。(生出・矢作)

安全対策



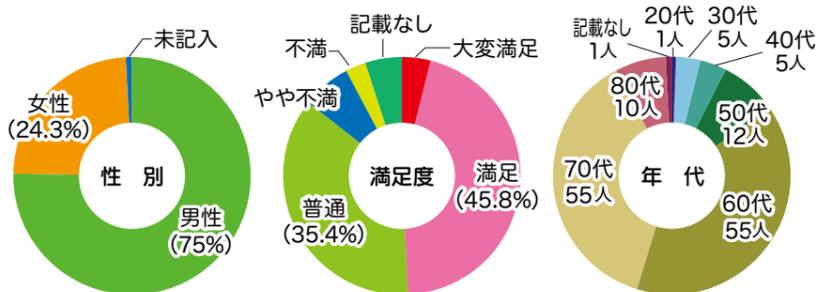
出会いの場を

子育て以前に出会いの場が必要。移住者を増やすとか、若者の意見を聞く機会も必要では。(高田・横田・長部)



11地区180人の参加者のみなさん ありがとうございました!!

	米崎	小友	広田	今泉	長部	高田
参加者数	6	17	22	6	39	25
アンケート数	1	12	17	5	34	20
	生出	矢作	下矢作	横田	竹駒	合計
参加者数	10	7	19	8	21	180
アンケート数	10	6	18	6	15	144



地元就職を希望する若者が残れるように企業誘致を。職場環境にも留意を。(下矢作)

地元就職



開催時間

語る会の開催を昼にしてほしいです。(米崎・下矢作・今泉)

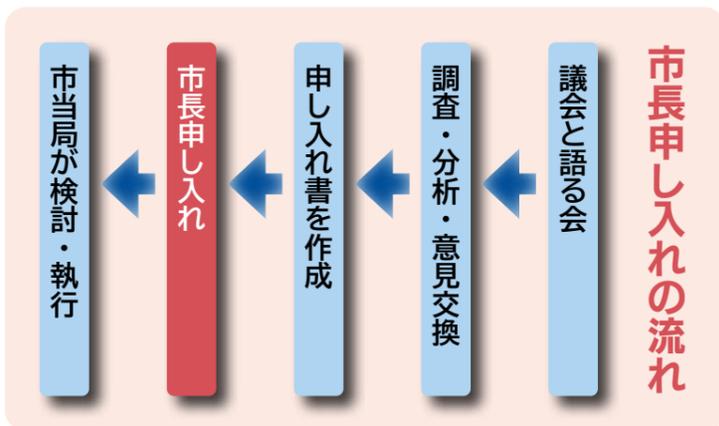
鳥獣被害が深刻で耕作意欲が失われる。クマ、イノシシによる人的被害が出る前に対策を。(下矢作)

鳥獣対策





市民の願いを市長へ提出



7月19日、及川修一議長、鶴浦昌也副議長、藤倉泰治広聴広報委員長の3人は、佐々木市長に対し、議会と語る会に参加した市民から寄せられた要望や提言の中から主要33項目を申し入れしました。

市長に提出した報告書の全文がご覧になれます。



議会として今回の議会と語る会に寄せられた市民意見をまとめ、市長申し入れを行いました。

及川議長は、「現在、議会改革として、議会運営委員会・広聴広報特別委員会・議会だより特別委員会が主体となって取り組んでいるが、今回新たな試みとしてワークショップ形式の議会と語る会が開催されるなど手ごたえを感じている。市民の声をどうか市政に反映してほしい」と述べ、佐々木市長に提出しました。

佐々木市長は、「市では吸い上げられない市民の大変貴重なご意見をいただきとてもありがたい。報告書の中身をしっかりと受け止める。」と述べました。

議会と語る会 建設業協会

4/25(木)
13:30~

市建設業協会(畠山正彦代表理事)との意見交換は今回で4回目です。令和2年の国政調査によると、建設業の就業者は全就業者数の15.6%を占め、市内でも多くの人に関わっています。

公共事業が減少し、事業者や従事者及びその家族の生活が脅かされることは、地域経済循環はもとより、本市の財政に与える影響も少なくありません。

いただいた要望・提言を議論し、検討していきます。

市内の建設業界は従業員の家族を含めると2,000人以上の生活を支えている。公共事業の発注を継続的にお願いしたい。



一時期よりILC誘致の熱意がしぼんでいるように感じる。国や国会議員などへの要望や働きかけも必要ではないか。



ホテル建設予定地の看板(高田町)

Q ホテルドリームのオープン予定は。

A 令和7年2月にプレオープン、同年5月にグランドオープンの予定である。黒崎温泉からお湯を運ぶための分湯用貯湯槽設置等設計業務委託の予算を本年度予算として計上している。

Q 物流倉庫建設により滝の里工業団地に空きが無くなった。新たな企業誘致のためにも団地の造成が必要ではないか。

A 市では工業団地の拡張・新設の予定はないとのこと。かさ上げ地の有効活用も考え、陸前高田都市計画用途地域の変更を行い、中小の工場の建設も可能としている。

議会と語る会 テーマ別

7/9(火)
13:30~

7/10(水)
18:00~

7/21(日)
10:00~



少人数のグループに分かれ(ワークショップ)、テーマ別に議会と語る会を開催しました。

お互いの意見に刺激され、次々に新しいアイデアが湧き出します。参加者からは『もっとやってほしい』『時間が足りない』という声も上がりました。次号の市議会だより130号で詳しくお伝えします。

どう思う?市のふところ具合

~陸前高田市の財政について~

子育てについて

~不安・希望・何が必要?~

産業振興について

~どうする陸前高田のしごと~



令和6年度
一般会計補正予算

7億2511万円を追加し

総額 **176億7511万円**

物価高騰対策
緊急支援給付金事業に

2億2994万円

救助対応型水槽付き
消防ポンプ自動車を取得



取得予定価格 **1億890万円**

水槽を積載しているので、火災現場でいち早く放水することができます。2.9トンまで吊り上げることのできる小型クレーンなど最新の資機材も装備。様々な災害に迅速に対応し、市民の生命と財産を守ります。

- 農業委員会委員
- 菅野 正敏
 - 戸羽 光子
 - 鈴木 秋雄
 - 新沼 富雄
 - 菅野 雅喜
 - 近江 雅一
 - 板林 周実
 - 白川 伸一
 - 村上 文子
 - 村上 上野
 - 菅野 文房
- 固定資産評価員
- 佐々木 学

選任、任命に同意

- 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏
- (62歳) (74歳) (64歳) (77歳) (72歳) (67歳) (65歳) (75歳) (71歳) (70歳) (72歳)
- 広田 小友 米崎 高田 気仙 気仙 竹駒 横田 矢作 矢作 矢作
- 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町

歳出 560万円増
地域力創造
専門家派遣事業費

問 560万円を計上した派遣事業の内容は。

答 総務省の事業で、外部専門家を招いて指導・助言をいただき地域活性化を図る制度。本年度は道の駅高田松原に派遣する予定。



道の駅高田松原

歳出 180万円増
能登半島地震被災地支援事業費

問 能登半島地震被災地支援事業費が計上されているが活動内容は。

答 派遣職員の旅費と現地での移動手段としてレンタカー代を計上している。活動詳細については、今後の実施となるため内容は未定。これまでの実施内容としては、家屋の被害調査、公費解体の事業に関わっている。



能登半島の被災地支援活動を報告

歳出 2億2994万円増
物価高騰対策
緊急支援給付金事業費

問 事業の対象人数は。

答 現状は概算となるが4千人程度を見込んでいます。

物価高騰への支援給付金とは？
令和6年度に新たに住民税均等割非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に1世帯10万円の給付金と、同世帯の18歳以下の子ども1人当たり5万円を支給。また減税額4万円に満たない場合に調整給付を行う。

第2回定例会は、6月14日から27日まで14日間の会期で行いました。
物価高騰対策緊急支援給付金や特定空家等解体工事費などが盛り込まれた本年度一般会計補正予算(7億2511万円追加し、176億7511万円)をはじめ、陸前高田斎苑火葬炉改修工事、救助対応型水槽付き消防ポンプ自動車の取得など議案3件、専決処分3件、条例案4件を原案通り承認・可決しました。また、農業委員会委員の任命など人事案に同意し、繰越計算書など3件の報告を受けました。
一般質問には10人の議員が登壇し、市長の公約や地域活性化策など市政全般にわたり論戦を展開しました。
最終日には、議会会議規則や委員会条例及び個人情報保護に関する条例改正の発議3件を可決し閉会しました。



一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入) (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
財政調整基金繰入金	+7211万円	前年度会計の決算が確定しないために繰り入れた。
他団体等支援金	+100万円	公益財団法人からの支援金。米崎小学校の遊具購入に活用される。
東日本大震災絆基金繰入金	+721万円	クレセントシティ市民交流団交流事業と市内小中学校の電子黒板購入費に充てる。

歳出(支出) (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
物価高騰対策緊急支援給付金事業費	+2億2994万円	概算で4千人の定額減税事業に取り組む。
地域力創造専門家派遣業務委託料	+560万円	総務省の事業で、道の駅の販売促進等に助言・指導を行う外部専門家を招く。
能登半島地震被災地支援事業費	+180万円	派遣職員の旅費と現地での移動手段としてレンタカー代を計上。

一般質問

我が市政を問う!



いせ 純
伊勢 純
(日本共産党)

鵜浦 昌也
(創生活会)

伊勢 純
(日本共産党)

大和田加代子
(碧い風)

佐々木 一義

佐々木 良麻
(こっほく未来創生)

大坪 涼子
(日本共産党)

菅野 広紀
(碧い風)

藤倉 泰治
(日本共産党)

中野 貴徳

木村 聡
(こっほく未来創生)

地域活性化策

林業振興策

市民の健康維持増進に向けたスポーツ振興策

深刻な物価高騰への対策支援

市独自のエアコン設置補助制度

漁業の省力化実現と国制度の活用

道の駅の海産物販売促進策

男女共同参画と少子化

プラスチックごみの削減

大学誘致

市内経済と産業振興

少子高齢化

次期総合戦略

産後ケア事業

物価高騰から暮らしを守る生活支援策

防災のまちづくりと地域活動

水田農業の取組

地区コミュニティの地域活性化

ペットとの共生

国の「指示権」導入の地方自治法改正案

本市の職員体制の現状と今後

本市奨学金制度の拡充

市長の記者懇談会等の広聴広報活動

事業の評価 取組

日本遺産の活用、取組

ナイトタイムエコノミー(夜間の経済活動) 戦略

市制70周年を契機としたシビックプライドの醸成

保育行政の課題と展望

市と高田高校の連携

エアコン設置に補助は

リフォームと同時なら対象



こちらから視聴できます

問 住宅へのエアコン設置は、
住宅リフォーム補助の対
象にしては。

答 エアコン設置と住宅リ
フォームの同時施工の場
合は、住宅リフォーム補助の対
象にしている。

問 エアコン設置補助を受け
られない介護施設へ市の
支援は。

答 事業者から現状や意向等
を伺い、必要に応じて支
援したい。



問 漁業省力化は
漁業の省力化実現は。

答 支援策は、現在、国の競
争力強化型機器等導入緊

急対策事業がある。これは、生
産性の向上、省力・省コスト化
に向けた漁業用機器等の導入を
支援する。この制度の活用を見
据え、普及・促進を検討する。

問 物価高騰にフレ商品券は
レミアム付き商品券事業
の実施は。

答 国の交付金を活用できな
い状況での実施は、多額
の一般財源による支出が見込ま
れ難い。

道の駅の製氷設備は

問 道の駅「高田松原」で待
望の魚の刺身や切り身の
販売が始まった。海産物販売促
進策として製氷設備設置への市
の支援は。

答 市は早急な対応は考えて
いない。



うのうら まさなり
鵜浦 昌也
(創生活会)

企業誘致の用地は

かさ上げ地は民有地が多い



こちらから視聴できます

問 企業誘致の現状はどうか。

答 県中央部の自治体は、大
量の工業用水やテクノロ
ジー系人材の豊富さといった有
利な条件にある。本市はこのよ
うな状況になく、海に近いこと
による塩の影響や内陸部への道
路が整備されていないなど厳
しい。IT関連企業の誘致には、
高度人材の育成や確保のための
仕組みづくりが必要で、大学と
の連携強化や、大学の誘致を進
めていきたい。企業のニーズに
合った受け入れ環境を整備する
必要もあり、デジタルサービス
を実際に行っている企業からヒ
アリングなどを進めている。

問 企業誘致の用地に、かさ
上げ地を活用できないか。

答 かさ上げ地は民有地が多
く、立地を希望する企業



高田町のかさ上げ地

問 森林環境税の周知は
徴収が始まる森林環境税
の周知策は。

答 納税者である市民に目的
や使途、徴収方法につい
て情報を提供している。今後も
地球温暖化防止や国土の保全に
役立つ森林整備の財源に充てて
いくことなどを市ホームページ
や広報などに掲載していく。



おおいわだ かよこ
大和田加代子
(碧い風)

少子化と男女共同参画は

極めて重要な関係がある



こちらから視聴できます

問 少子化と男女共同参画の
関係をどのように考えて
いるか。

答 少子化には様々な要因が
あり、男女共同参画につ
いても、極めて重要な関係があ
ると考えている。

問 少子化と男女共同参画の
関係についてコミセン協
議会総会などで研修を行うこと
はどうか。

答 そのテーマで研修を行う
のは難しいが、国の統計
情報や白書の状況など、コミセ
ンの求めるところに対応しなが
ら進めていく。

問 市の業務委託先や、指定
管理者などで働く人の労
働条件を確保するため、社会保
険労務士による労働条件審査を
行うことはどうか。

答 それができるかどうか、
今後内部で検討していき
たい。

プリアミの削減は

問 産業まつりなどのイベン
トで、リユース食器の使
用やマイカップ、マイ箸・マイス
プーンなどの利用を呼びかける
など、プラスチックごみ削減の
取組を市民に示すことはどうか。

答 どのイベントになるかは
分からないが、できるこ
ろから取り組んでいきたい。



男性の家事・育児参加が
出生数にも影響



ささき かつよし
佐々木一義

大学誘致の進捗は 公約実現に向け取り組む



こちらから視聴できます

問 公約である大学誘致の進捗は、よく市民との情報共有は、

答 立教大学と岩手大学による合同授業が予定されている。今後は公約実現に向けて両大学以外にも積極的に働きかけていく。

問 相手方に配慮し経緯を発表することを差し控えていたが、今後は市民と双方向で情報を交換できる場をつくる方向で対応したい。

市内経済対策は

問 厳しさを増す市内経済の状況とその対策は。

答 事業者の状況把握に努め、必要な支援を行っていく。

問 当市のインバウンド戦略は。

答 防災・減災を学べるフィールドに加え、ブルーフラッグ認証を受けた高田松原海水浴

場やみちのく潮風トレイルを中心に行う。

移住促進対策は

問 若者の移住促進策は。

答 国・県と連携した移住支援に加え、市の独自制度の移住定住促進助成金を開始している。さらに若者に対する移住年数の要件を緩和した若者定住住宅取得支援事業費補助金を創設。子育て加算制度も加え、子育て世帯に魅力的な地域づくりを努めている。



今期でGキャンパス終了



おおつぼ りょうこ
大坪 涼子
(日本共産党)

配食サの自己負担軽減は

財源を工夫し検討する



こちらから視聴できます

問 市長は施政方針で物価対策を「国県の動向を注視」としか言っていない。市独自の配食サービスで自己負担が一食400円から450円に上がったが、負担を軽減し、生活支援すべきでは。

答 食材費等の高騰から一食50円の負担増となった。事業継続のためには負担軽減は困難。

問 物価高騰の今だからこそ、負担を下げるべきではないか。

答 財源を工夫し検討する。

タクシー券枚数増は

問 タクシー料金も値上がりしている。タクシー助成券の交付枚数を増



やすべきではないか。

答 同町内でも中心市街地や病院などへの利用状況を考慮し財源も踏まえながら検討していく。

なぜ国保税引下げストップか

問 令和6年度も国保税均等割の引き下げをしてはどうか。

答 昨年度に限ったもの。本年度は国保財政の安定的運営を図る。

子ども参加の防災講座を

問 大人から子どもを交えた防災の取組はどうか。

答 楽しみながら防災を学べる場として「消防・防災フェスタ」を今年も開催予定としている。



ささき りょうま
佐々木良麻
(とうほく未来創生)

産後ケア新事業の役割は 集合型でつながりを



こちらから視聴できます

問 新たに開始した産後ケア事業「ままふわり」と従来の産後ケア事業のそれぞれの役割は。

答 「ままふわり」は、保健福祉総合センターを会場に月に1度開催している。定員4組の集合型で実施しており、母親の体調チェック、乳房ケア、育児相談などの心身のケアに加え、参加者同士の交流の時間を設け、母親同志のつながり作りも図っている。従来の産後ケアは居宅訪問で行っており、生活状況に応じて訪問時間などを調整でき、柔軟な対応ができることが利点。双方実施することで対象者の状況に応じた支援が可能になる。



新たな産後ケア事業「ままふわり」

問 「デジタル総合戦略」の影響は

答 国の総合戦略が、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改定されたが、本市の次期総合戦略への影響は。



かの ひろき
菅野 広紀
(碧い風)

米乾燥貯蔵施設の拡充は

J Aなどと意見交換する



こちらから視聴できます

問 本市の水田農業の耕作放棄地対策やほ場の集約化は。

答 耕作放棄地対策は、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金を活用し取り組んだが、日本型直接支払制度に取り組み集約は減少傾向で本市だけでなく全国的な課題となっている。

ほ場の集約は、現在進めている地域計画で意向調査を活用し、今後、農地の利用調整を行う。

問 米の乾燥・貯蔵施設拡充の要望に対して検討しているか。

答 米崎町のライスセンターは、J A大船渡管内の人にも利用しているので、今後は利用状況を踏まえJ A大船渡や大船渡市、住田町と意見交換をしていく。



増設が求められる乾燥・貯蔵施設

問 コミュニティの活動支援は

答 コミュニティ活動の再開と活動支援についての考えは。長引くコロナ禍で行事等の開催ノウハウを有する人材不足が課題の地域もあり、地域交付金制度と合わせ、まちづくり団体活動補助金や市内NPO団体との連携支援を模索していく。その他「集落支援員制度」の導入の可能性も検討する。



ふじくら たいじ
藤倉 泰治
(日本共産党)

市職員の若手採用は

一定数を採用していく



こちらから視聴できます

問 市職員の年齢構成が40代が40%をこえ、20代が10%台とバランスを欠いている。非正規職員も多い。若い人を積極的に採用すべきではないか。

答 定員管理計画に基づいて一定数を採用していく。

保育所に正規職員を

問 公立保育所職員の年齢構成と非正規職員の状況はどうか。

答 職員62人のうち会計年度職員は39人。保育所も40代50代の職員が多い。



非正規職員が多い保育施設

「貸付型」にも支援を

問 本市の奨学金は「給付型」が導入されたが、従来からの「貸付型」は全額返済が基本だ。生活困難な場合は半額返済や免除措置等の支援をすべきではないか。

答 アンケート結果から返済期限の延長を含め検討する。

記者懇談会の掲載は

問 本市HP「市長の部屋」の定例記者懇談会の欄が全文掲載から要約されて短くなったのはなぜか。

答 閲覧の際の手間が煩雑で、読みにくいものとなっていた。頭末作成の職員の負担も大きい。今後、A-の活用により多くの情報提供を行う方向で対応していく。

市制70周年をどう生かす

市民の誇り改める機会に



こちらから視聴できます

問 来年の市制70周年の節目をまちづくりにどう生かすのか。

答 シビックプライドとして、市民が地域愛、郷土愛、更には復興への想いを改めて持ち、まちづくりに積極的に参加したいと思えるような取組を考えている。



陸前高田市史全 12巻

問 市出身で活躍している市外の方々に関わってもらえないか。

答 市出身の人たちとも一度つながり直すというのは大変いいアイデアと思う。

夜間経済活性化は

問 コロナがら類移りし、新ホテル建設を控える今、

問 夜間経済の活性化策は重要だ。市の受け止めは。

答 インバウンド消費の増加による雇用の創出、地域の隠れた魅力の再発見にもつながると認識している。

問 夜間に博物館を開館する企画など公共施設の活用は。

答 課題等を整理し検討する。

問 運転代行の補助は。

答 ちょっと行ってみようという雰囲気につながるようなタクシー券の助成も一つだが、様々な方に意見を伺いながら考えていく。

※保育行政と高田高校については、ぜひQRコードからご覧ください。



なかの たかのり
中野 貴徳

日本遺産の活用策は

団体等と魅力を発信



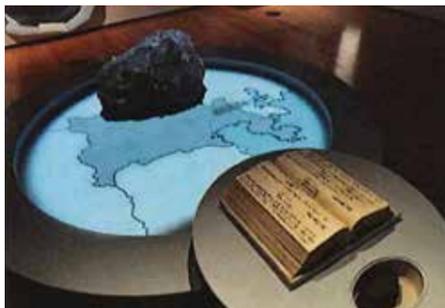
こちらから視聴できます

問 日本遺産認定の活用策をどのように捉えているか。

答 まちづくり総合計画で、新たな観光地づくりを掲げている。市内の各種団体等と連携を図り、魅力発信の拡大につなげたい。

問 吉田家文書や旧吉田家住宅主屋の活用は。

答 吉田家文書は大肝入の執務記録であり、仙台藩直



市立博物館に展示されている文書（複製）

答 事務事業評価は平成17年度から導入し取り組んでいたが、東日本大震災以降は復興事業を優先するために中断している。令和7年度、国の第2期復興創生期間の終了を期に、他市の例も参考に新たな評価基準等を検討し、事務事業評価の再開を考える。

問 事務事業評価の状況は。

傍聴者の声

今回は、YouTube（インターネット動画サイト）で議会中継を視聴した古谷恵一さん（高田町・自営業）に感想を伺いました。



古谷 恵一 さん
(高田町在住・36歳)

Q 自己紹介をお願いします。

A 神奈川県出身です。陸前高田市との出会いは大学生時代の平成20〜21年に訪問し、その後、平成29年に地域おこし協力隊採用と同時に移住し、観光交流事業に従事しました。現在は、陸前高田に訪れる団体等をコーディネートする仕事をしています。

Q YouTubeでの視聴はいつごろからですか。

A 5年ほど前からです。新庁舎での傍聴経験もあります。しかし、仕事で日中の議会傍聴はできないので、時間がある時に自宅や車の中で聞いています。

Q 傍聴の感想は。

A 多岐にわたる市政課題を議論しており、市内でどんなことが進んでいるのかわかる機会になっています。仕事柄、観光関連の質問は、特に注意深く聞いています。

以前、議場に傍聴に行った時、タイマーがあることを知り、議員は限られた持ち時間で質問している事を知りました。

Q 今、取り組んでいることや議会への要望は。

A 市内観光関連事業者と「観光を考える若手勉強会」を定期的に開催し、陸前高田の魅力・観光客の増加と経済効果を上げるにはどうするかを話し合っています。要望は、動画配信の再生音声がかさいので改善して欲しいのと、語尾をハッキリと話して欲しいです。また市の公式LINEでお知らせするなど、公開していることをもっと周知して欲しいです。機会があったら議場に傍聴に行きたいと思っています。

YouTube 配信のお知らせ

議会だよりとともにYouTubeをご覧になりませんか。一般質問などの見比べも含め、皆さまのご意見をお待ちしております。
※市ホームページ→市議会→首声中継（YouTube陸前高田市議会）をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルに移動し視聴したい会議を選んでご覧いただけます。

総務

所管事務調査
消防団の現状と課題について

6/25



6年ぶりの操法競技会

所管事務調査

総務常任委員会は、「消防団の現状と課題について」、6月25日に本市庁舎内で調査を行いました。

菅野泰浩消防長、及川貴美人消防次長から、本市の消防団の取り組み状況や課題等の説明を受けた後、各委員が質疑を行いました。

本市消防団員数は、定数639人に対し令和6年4月1日現在520人となっており、81・4%の充足率でした。団員数の推移は人口で3%前後となっているものの、定数に対する充足率が以前と比べ低い状況です。

本市では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波において消防団員の尊い命が失われたことを教訓に、さまざまな災害活動に従事する消防団員の安全対策

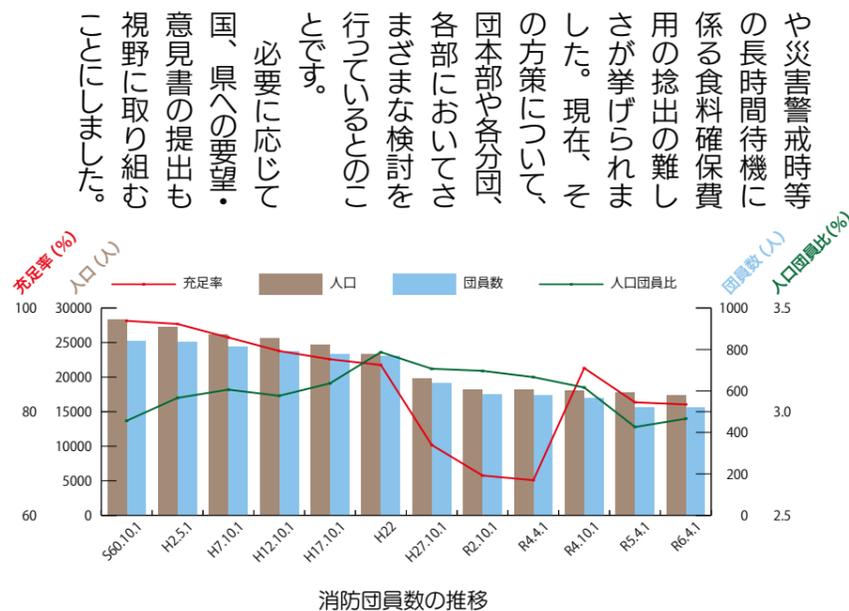
を講じています。その内容は、通信手段確保のトランシーバーや反射材入り防寒衣の貸与のほか、耐切創性手袋、踏み抜き防止板入り長靴等の全団員への配布です。

また、処遇改善として、団員の年額報酬を2万3500円から3万6500円に引き上げ、かつ出勤報酬を見直し二日最大8千円とし、団員個人に直接支給にしていると説明を受けました。

任用要件を、「市内に居住する者」から「市内に居住し、又は勤務する者」に改めるとともに、より広い入団環境の整備、休団制度、自動車運転免許取得補助制度等を設け、消防団員の充足に取り組んでいる状況を確認しました。

課題は、消防団員の減少や、団員の生活様式の変遷により平日昼間の出勤が困難であること。また、出勤時の水分等補給

委員長 中野 貴徳
副委員長 木村 聡
大和田加代子
鶴浦 昌也
藤倉 泰治



教育民生

所管事務調査
市の学校教育の特徴について

6/14

未就学児に対する施策

6/25



元気に遊ぶこどもたち (小友保育所)

所管事務調査

現在、教育民生常任委員会は、本市の子どもを市全体で応援する基本理念を定めようと活動しています。今回は、市の教育・保育環境の現状の調査を行いました。

まず「市の学校教育の特徴について」を調査テーマとして、6月14日に教育委員会の説明を受けました。本市の特徴的な取り組みとして、①魅力ある学校づくり、②地域の特性を生かしたキャリア教育の推進、③心のケアの推進と心のサポートの充実、④配慮を必要とする児童生徒への教育支援の実現、⑤地域に開かれた学校づくりの5項目の実施状況を確認しました。

本市においては、大震災の被災という大きな環境の変化を契機に心のケアを重視してきた経緯や、地域と学校の関係性

が深い点を踏まえ、職業理解学習や産業・郷土芸能に関わる機会を設けるなどの取り組みが進められており、地域性を重視した教育体制の構築をうかがい知ることができました。

6月25日には、「未就学児に対する施策」について、福祉部と子ども未来課を対象に調査しました。市全体の園児数の推移や市内各施設の園児数の状況、延長保育や一時預かり事業など子育て支援施策の実施状況を確認。加えて、公立の保育所で実施している、小学校への円滑な接続を目指す「スムーズコネクトプログラム」の説明を受けました。

市の保育状況としては、保育所・保育園を中心としつつも、3〜5人程度で保育を行う家庭的保育事業の実施や、病後児保育事業などを通して、子育て要望や

ライフスタイルの多様化へ対応している状況を知ることができました。

これらの調査を踏まえ、今後については、文献調査や視察を通して、より実効性の高い基本理念を定められるように努めたいと考えています。

委員長 佐々木一義
副委員長 大坪 涼子
佐々木良麻
菅野 広紀
福田 利喜
伊藤 明彦



教育委員会からの聞きとり

議員研修

5/15 『対話する議会・議員』を研修

6/24 SOUNDカードを活用した議員間での研修

6/27 ファシリテーション研修



『対話する議会・議員』を研修

本市議会は、さまざまな市政課題を議員同士で活発に議論し、合意形成を図りながら政策提言につなげようと、議員間討議の在り方を模索しています。その一環として、5月15日に市役所で「対話する議会・議員」と題する研修会を行いました。

講師は青森大学社会学部教授の佐藤淳さんに務めてもらい、「SOUND(サウンド)

カード」を活用した討議の手法について学びました。

カードには、「個人の感情に寄り添うために取り組みたいことは何？」など、種々の「問い」が書かれており、誰とでもどんなテーマでも短時間で和やかに対話が深められるよう工夫されていました。

佐藤さんからは、市民との意見交換や議員同士で議論する際、「このカードを活用できる」との説明を受けました。その上で、議員同士の対話をスムーズに進め、議員間討議に役立てていくようアドバイスされました。

カードを使った実践形式の討議では、「陸前高田市の産業振興」をテーマに議員4人ずつ4グループに分かれて主張。それぞれの意見を真剣に聞きながら合意形成を図り、グループごとに提言をまとめるなど、今後の議員活動に生かせる手法を学びました。

「SOUNDカード」を活用した2回目の研修会は6月24日、市役所で行いました。

前回同様に、議員4人ずつ4グループに分かれ、各カードに書かれた問いに従って意見を発表し合いました。

実践を交えた討議では、お互いさまざまな意見や見方があることが分かり、それぞれの考え方を共有することの大切さを実感しました。

今後も対話する議会、議員を目指し、市民福祉の向上につなげていく意欲が高まる研修となりました。

『ファシリテーション研修』

広聴広報特別委員会が6月27日、全議員を対象に、話し合いを円滑に進めるための技術を学ぶファシリテーション研修を行いました。この研修は、7月に新たな試みとして開くワークショップ形式の議会と語る会に向けたもので、話し合いをスムーズに進めるための技術を学ぶものです。講師は、陸前高田まちづくり協働センターの三浦まり江さんが務めました。

前半は、話しやすい環境の作り方や議論の整理手法、話を引き出すための質問方法などの説明を受け、後半は、実際にグループを作り、議会と語る会を想定したワークショップを行いました。出された意見の記録、項目の分類、論点の整理を体験し、実践を通じた学びを得る機会となりました。

7月開催のワークショップ形式の議会と語る会については、また次号で報告します。



産業建設

所管事務調査
サーモンの海面養殖

6/25

所管事務調査

産業建設常任委員会は6月25日、水産大手の㈱ニッスイと広田湾漁協が、昨年11月から共同で取り組んでいるサーモン(ギンザケ)の海面養殖を現地調査しました。

現地では、同社の担当者である御供俊介さんから、初年度は海洋環境や他の漁業活動への影響がないかなどを調査しているとの説明を受けました。

また、昨年12月の試験養殖開始には約180kgだった8万尾の稚魚は、水揚げ開始時には2.5kg前後に成長する等、秋以降の本格養殖に向け、試験養殖は順調に推移しているとのことでした。

養殖用いけすは、広田湾内と沖合の2カ所(滝浜・金入漁場)に直径25mのもの



広田漁港で水揚げの状況視察

水揚げの作業では、養殖用いけすから水揚げ用のいけすに移した後、1尾1尾を活け締め処理し、魚体の大きさにコンテナに分ける作業などの様子を視察することができました。

その後、同社事務所で、これまでの経緯などについて説明を受けました。

現在、本県の秋サケ漁は、深刻な不漁に陥っており、震災以前の1%以下の漁獲量となっています。

そのような中で、生食可能な養殖サーモンは、すしネタとしての人気も高く注目されており、県内でも盛んに取り組まれています。

試験養殖1年目・2年目は200kgを、本格養殖が確立する2030年度には、3千kgの水揚げを見込んでいるとのことでした。



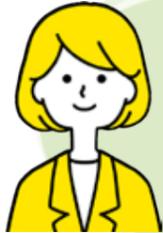
サーモンをサイズ別に分類 (広田漁港)

将来は、陸前高田をニッスイの最先端養殖モデルエリアとして構築していきたいとのことで、遠隔給餌システムの技術開発をはじめ、6次産業化と併せて大きな可能性が感じられる現地調査となりました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大坂 俊 |
| 副委員長 | 伊勢 純 |
| | 菅野秀一郎 |
| | 小林 卓 |
| | 及川 修一 |

議会と市民の交流コーナー

市議会では、市民のみなさまへクイズを出させていただいています。それは広くご意見もうかがいたく取り組んでいるものです。第128号のクイズの答えとともに寄せられたご意見を紹介します。



議会だより、読みやすく
良いと思います。
議会と市民の交流コーナーも、
他の市民の方の意見も知ることが
できるので良いと思います。
(広田町)

議会だよりを楽しみに拝見して
います。議会の傍聴をできることを
楽しみにしております。
私たちが安心して生活できることを
願いながら毎日を過ごしています。
(広田町)



タクシー券をありがたく利用しています。
未利用の人もある一方で、本当に必要と
する人が考えながら使用する現状があります。
枚数をもう少し増やしていただきたい願望も
あります。
(高田町)



議会だよりクイズ

○の中にはどんな数字が入るでしょうか？

5月に「議会と語る会」は 市内○地区で開催されました。

応募方法 クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5名の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

- あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100
陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL gikai@city.rikuzentakata.iwate.jp
- しめきり 令和6年9月6日(当日消印有効)

議会だより第128号クイズの答え ○の中にはどんな数字が入るでしょうか？

「まちづくり総合計画後期基本計画は令和○年度までの計画です。」 答え **10**年度



表紙の写真

高田町・お天王さまの歩行者天国
(7月19・20日)での金魚すくい。
すくえなかった妹のために、
お兄ちゃんと再チャレンジ!



令和5年度 下半期政務活動費執行状況

本市議会の議員は1人につき月額12,500円の政務活動費の交付を受けることができます。(会派に属する議員は会派に、会派に属さない議員は議員に交付)
政務活動費は、市政に関する調査研究に資するため必要な経費として使用するもので、使途基準が定められています。
なお、交付額より執行額が上回る会派等については、自己資金にて対応しています。

会派等交付先	人数(人)	執行額(円)
碧い風	3	225,000
創生会	3	225,000
とうほく未来創生	2	150,000
日本共産党	3	154,316
中野 貴徳	-	0
佐々木一義	-	0
大坂 俊	-	26,610
及川 修一	-	0
伊藤 明彦	-	75,000

議長交際費をお知らせします

令和5年度分の議長交際費の支出状況をお知らせいたします。議長交際費は議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

支出区分	件数(件)	執行額(円)	支出区分
お祝い	0	0	
会費	6	25,000	各団体表彰式・総会・祝賀会・激励会等の会費
慶弔	2	26,500	元市議会副議長の逝去に際し香典・生花
その他	3	42,030	他自治体訪問の際の土産
合計	11	93,530	



私は4月10日から16日までの7日間、市長、教育長と共に、震災で漂着した高田高校の実習船「かもめ」の縁で結ばれた姉妹都市である、米国カリフォル

クレセントシティ市 第2回カモメフェスティバルに及川議長が出席

ニア州クレセントシティ市を訪問しました。
現地では盛大な歓迎を受け、市民同士の交流を発展させようと友好団体と懇談を行いました。また、陸前高田市は、高校生の国際感覚を養うためクレセントシティ市への短期留学を計画していますが、その実現に向け、両市の市長、教育長などと共に話し合いも持ちました。
今回の訪問により、クレセントシティ市との交流が一層広がっていくと感じています。

議員表彰

5月22日に東京で開催された第100回全国市議会議長会定期総会において、次の議員が表彰されました。

議員表彰25年以上

及川 修一 議員
伊藤 明彦 議員

議員表彰20年以上

福田 利喜 議員

正副議長表彰4年以上

福田 利喜 議員
大坂 俊 議員



全員協議会

令和6年4月以降市当局から提出された案件をお知らせします。

4月19日

◎陸前高田市水産業振興計画の策定

6月14日

◎陸前高田市まちづくり総合計画に係る実施計画について

6月27日

◎令和6年度岩手県に対する要望の実施について

- 東日本大震災に係る復旧関係予算を活用した事業者に対する財産処分制限に関する緩和について(新規)
- 高田松原の再生に係る保育作業の継続実施及びクズ対策について(新規)
- 地域生活支援事業費等補助金の国庫補助及び県補助の補助率について(新規)
- 地域医療の充実確保について(部新規)
- 貝毒の発生防止及び夏季の高水温による大量の死に係る抜本的対策について(部新規)

以上5件の新規要望を含む、全22項目の要望。

7月19日

◎投票区・投票所の見直しについて



議会の動き

4月

- 2日 議会だより特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 10~16日 クレセントシティ市訪問
- 17日 全員協議会／議会だより特別委員会／
広聴広報特別委員会
- 18日 東北市議会議長会 理事会・定期総会・懇談会(正副議長)
- 19日 東北市議会議長会 市内視察(正副議長)
- 22日 岩手県市議会議長会 第1回理事会・定期総会・
懇親会(正副議長)
- 23日 岩手県市議会議長会 視察(正副議長)
- 24日 総務常任委員会
- 25日 議会と語る会(建設業協会)
- 26日 民生委員児童員協議会総会(議長)／気仙川清流化
推進協議会総会(議長)

5月

- 8日 行政視察(熊本県大津町議会)
- 13日 総務常任委員会／議会と語る会
- 14日 国道340号整備促進期成同盟会(議長)／議会と語る会
- 15日 議員研修会
- 16日 議会と語る会
- 17日 議会と語る会
- 20日 全員協議会／議会運営委員会／教育民生常任委員会／
広聴広報特別委員会／議会だより特別委員会／常任委
員会正副委員長打合わせ
- 21日 市老人クラブ連合会総会(議長)
- 22日 全国市議会議長会総会(議長)／三陸地区道路関係
縦軸2団体合同総会(副議長)
- 23日 市議会議員共済会128回代議員会(議長)／
商工会第68回通常総会(副議長)
- 24日 大船渡市農協第58回通常総代会(議長)
- 27日 (一社)県漁港漁村協会定時総会(議長)
- 28日 行政視察(神奈川県葉山町議会)
- 29日 議会だより特別委員会／国道343号・広域幹線
道路整備促進期成同盟会総会(副議長)／
シルバー人材センター定時総会(議長)
- 30日 市遺族会総会(議長)新笹/田トンネル整備促進期成同盟会(議長)
- 31日 クレセントシティ友好の会総会(議長)

6月

- 2日 響け！希望のトランペット(総務常任委員長)
- 6日 教育民生常任委員会／県民大会選手団結団式(議長)
- 9日 陸前高田市消防操法競技会
- 11日 議会運営委員会／産業建設常任委員会
- 12日 岩手県空港利用促進協議会総会(議長)
- 14日 第2回市議会定例会本会議／全員協議会／各常任委
員会／各特別委員会／特別委員会正副委員長打合せ
本会議(一般質問)／会派代表者会
- 19日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)／予算等特別委員会
- 24日 議員研修会
- 25日 各常任委員会／広聴広報特別委員会／建設業協会総会懇親会
- 27日 本会議閉会／全員協議会／ファシリテーター研修(WS)／
陸前高田市観光物産協会通常総会(議長)
- 28日 気仙広域連合議会臨時会／議会だより特別委員会

第17回

がんばってます！

市内の団体や個人を紹介します。

陸前高田LGBTQ+を考える会会長
無量山光照寺副住職

たかさわ こうげん
高澤 公元 さん



高澤公元さん(34歳)は、高田町の光照寺で副住職を務めています。性的少数者であるLGBTQ+の当事者に心を寄せながらの活動や未来のやさしい社会のあり方などについて、お話をうかがいました。

陸前高田LGBTQ+を考える会は、2022年5月に立ち上がりまし
た。性的少数者の方々が生きやすい環境を整える援助をしたい思いが
あり、会長として会の運営に携わっています。会員は56人です。これま
で年に2回ほど、アバッセでのパネル展示などに取り組んできました。

会を立ち上げる前に私自身が宗派の研修で多様性について考える
機会がありました。

光照寺の宗派である曹洞宗では、戒名が男性用と女性用に分かれ
ていますが、その研修ではLGBTQ+の当事者が亡くなられた時に心
の性とは違う戒名をつけられたという事例が紹介されました。その場
合、どうするべきだったのかという議論があり、お寺も多様に順応し
ていく必要があることを学びました。その学びが今の活動に繋がって
います。

今年4月からは、陸前高田市のパートナーシップ・ファミリーシップ制
度が始まりました。当事者だけではなく、まわりの人の理解を広げる周
知活動の必要性を感じています。当事者からも要望を聞き、その思い
を届ける活動があればいいなと考えています。

将来は、国籍の違いなどのさまざまな多様性に対し、その都度に制
度づくりで対応するのではなく、少しずつ他者を思いやれる生活がで
きる社会になってほしいです。

また、人生は楽しんだもの勝ちと思っています。市議会のみなさんも
楽しく、とっかかりやすい雰囲気がかんばってほしいです。

あとがき

気候変動、マイナンバー
カード、新紙幣発行など、
私たちの生活に直結する
変化が続いています。

スーパージョブが以前と
変わっていて戸惑うことも
ありますよね。

さて皆さん、議会だより
が全ページフルカラーに
なったことに気付いていま
すか？イラストなどが増
えて読みやすくなったと思
いませんか？

地区単位の議会と語る
会に続き、テーマ別ワー
クショップ形式の語る会の開
催など、議会だよりに限ら
ず、議会も新しい取り組み
を始めています。

持続可能な陸前高田市
を目指し、次の世代に誇れ
るまちを皆さんと共に創
るため、議会も変化を惜し
みません。

腕章をつけて市内各地
に撮影・取材にも伺いま
すので、よろしくお願
いいたします。

(大和田 加代子)